



インフォメーション

■会議報告 第32回電離気体现象国際会議 (XXXII International Conference on Phenomena in Ionized Gases)

清水一男 (静岡大)

標記国際会議 (XXXII ICPIG) が、2015年7月26日から31日までの6日間、ルーマニア東部の都市ヤシにて開催された。ヤシはかつてモルドヴァ公国の頃には首都として発展を遂げた都市でもあり、近隣には世界遺産に認定された教会などの史跡が現存している。また会場である Alexandru Ioan Cuza University of Iasi はルーマニアでも最も古い大学 (1860年設立) とのことである。

ICPIG は主にヨーロッパにおいて2年に1回の頻度で開催されてきた歴史のある国際会議で、電離気体现象について、基礎分野から応用分野までを幅広く扱う点が特徴であり、参加者も比較的、多く推移してきた。

本会議の参加者は公式ウェブサイトより309名、発表件数総数は295件とのことであり、その内訳は General Lectures 10件 (単独セッション)、Topical Lectures 24件 (2会場パラレル)、2つの特別セッションでの Invited Lectures 8件 (単独セッション)、および、ポスター発表 248件 (4回に分けて開催) であった (プログラムによる発表件数と一致しない)。今回の会議は過去の参加者数 (ICPIG XXX 412名, ICPIG XXXI 476名) と比較すると大幅な減少傾向がみられた。現地実行委員に確認すると、2015年度は他の放電プラズマや関連する会議も多く、そちらへの参加によるため分散したのであろう、とのことであった。

参加国はルーマニアや近隣東欧諸国はもちろん、フランス、ドイツ、イギリス、米国、日本など36カ国とのことであった。我が国からは20名程度の参加者があり、これも過去の日本からの参加者数と比較すると半数程度となった。

本会議における研究分野とポスターセッションでの発表件数を表1に示す。17の分野にまたがっており、先に示したように基礎から応用分野、低気圧から大気圧プラズマまでほぼ全てを網羅しているといえ、その中でも基礎分野では、1. Elementary processes and fundamental data, 5. Modeling and simulation techniques, 6. Plasma diagnostic methods の3分野が、応用分野では、10. Non-equilibrium plasmas and microplasmas at high pressures, 13. Plasma processing of surfaces and particles, 16. Medical, biological, environmental and aeronautical applications の3分野の発表件数が多い結果となった。

また豊富なソーシャルイベントが会議と合わせて行われるのも ICPIG の恒例である。例えば Conference excursion では3つのコースが設定された。

1. History and culture at the edge of the Carpathians: Neamt Stronghold & Monastery
2. Bucovina Touch: -Suceava Stronghold -Bucovina Village Museum - Voronet Monastery
3. Iași, the capital of Moldavia - local culture and history

それぞれの詳細は公式ウェブサイトに掲載が、全体で195名 (参加者全体の約 2/3) の参加があったとのことである。

筆者は2番の世界遺産でもあるブコビナ地方の修道院巡りに参加したが、帰りは夜の11時になってしまった。日の長いヨーロッパならではの楽しみといえよう。また最終日の前には Gala Dinner が開催され、ルーマニア独自のダンスや古楽器による演奏も楽しむことができた。次回第33回会議 ICPIG2017はポルトガル・リスボンで開催されるとのことである。次回は日本からも大勢の参加を期待したい。

(2015年8月6日原稿受付)

表1 ポスター発表の分野別件数。

分 野	件
A. Fundamentals	
1. Elementary processes and fundamental data	24
2. Thermodynamics and transport phenomena	1
3. Plasma wall interactions, electrode and surface effects	6
4. Collective and nonlinear phenomena	5
B. Modeling, Simulation and Diagnostics	
5. Modeling and simulation techniques	24
6. Plasma diagnostic methods	35
C. Plasma Sources and Discharge Regimes	
7. Astrophysical, geophysical and other natural plasmas	4
8. Low pressure plasmas	19
9. High frequency discharges	13
10. Non-equilibrium plasmas and microplasmas at high pressures	31
11. Thermal plasmas	7
12. Complex and dusty plasmas, ion-ion plasmas, mixed phase plasmas	15
D. Applications	
13. Plasma processing of surfaces and particles	35
14. High pressure and thermal plasma processing	3
15. Plasma lamps and radiation sources	2
16. Medical, biological, environmental and aeronautical applications	19
17. Plasma power and pulsed power technology, particle sources	5
合 計	248